

平成28年度 東京都立足立西高等学校経営報告

1. 目指す学校

『安心していきいきと学べる学校』

- ・学習意欲を引き出し、生徒一人ひとりが伸びる授業
- ・個性を活かし、総合的な学力を向上させる教育活動
- ・きめ細かい生徒指導、生徒支援体制の充実
- ・安全で快適な学習環境

『自ら将来を切り拓く力を育成する学校』

- ・3年間を見通しての総合的なキャリア教育
- ・生徒の活動力と創造力、主体性を育成する部活動、学校行事
- ・教育活動全般を通して思いやりの心、豊かな人間性を育成
- ・大学進学等へのチャレンジを全面的に支援し、希望進路実現

『地域から信頼され選ばれる学校』

- ・多面的な地域交流活動と地域の教育力の活用
- ・積極的な情報発信、わかりやすい広報活動
- ・生徒、保護者、教職員の信頼関係に基づく教育活動

2. 今年度の取組の成果と課題

【学習指導】

○ 参加型授業、「自分でわかる授業」への改善

- ・授業魅力化指針に基づき、各教科の特性を生かした「自分でわかる授業」の取組みを推進し、学びあい・ペアワーク・グループ学習・課題研究型授業等が実施された。
- ・ICT機器活用授業はさらに増加し、活用法も広がった。
- ・アクティブラーニング先進校へのベンチマーク活動を3名で実施し成果を還元した。

- 課題**
- ・講義型授業においても、生徒個々が考える機会をさらに増加させること。
 - ・「自分でわかる授業」の授業実践を外部に情報発信すること。
 - ・双方向的なICT機器活用を試行し実践すること。
 - ・外部の研究授業や授業改善に有用な講演会等への参加を増加させること

○ 学習環境の向上

- ・足立西高校授業ミニマム、授業規律ウィークを活用し生徒の意識啓発を継続した。

- 課題**
- ・遅刻撲滅も含め、授業時間管理をさらに徹底すること。

○ 個に応じた指導体制の推進と基礎学力の定着

- ・習熟度に応じた授業方法の工夫をはじめ早期からの丁寧な指導を徹底し、単位未修得者を最小限に抑えた。
- ・土曜日・夏季休業期間を中心に学生チューターの活用方法を多面化し効果を上げた。
- ・1学年で放課後自習室を試行した。

- 課題**
- ・苦手～嫌いな科目の克服策を多面的に実施すること。
 - ・本校独自の特進クラスシステムへの改善・発展。

○ 学習意欲向上、学習習慣定着

- ・夏期講習に世界史・生物・美術で新たな視点の講座を実施し成果を上げた。
- ・検定受験者合格者数は停滞した。

- 課題**
- ・キャリアウィークを活用した学習意欲向上学習習慣定着策の実施。
 - ・考査準備学習支援をはじめとした学習支援策の実施。
 - ・検定試験を受験しやすい環境づくりと支援体制の強化。

- ・新たな視点での講習実施をはじめとしたアドワークの取組み強化。

【生徒指導】

○ 組織的な品格のある生徒指導の推進

- ・生徒指導における言葉遣いや個を大切にした指導姿勢を向上させた。
- ・落ち着いた学習環境は維持され地域から評価されている。

課題

- ・多様化した生徒の状況に対応した指導哲学の探究。
- ・教員間コンセンサスを確立し教員個々の当事者意識を向上させ、協業体制（組織滝指導体制）を確立すること
- ・人権尊重の姿勢に基づく品格ある指導の徹底。

○ 安全指導の継続、繰り返し実施による徹底

- ・SNS利用指導を繰り返し行い、情報リテラシーの徹底を図った。
- ・上級救命講習を実施し生徒の意識を啓発した。

課題

- ・自転車事故撲滅、利用マナーの徹底のための取組み継続。
- ・SNS利用指導を工夫し、個人情報漏えいや生徒間トラブル防止策を徹底すること。
- ・実態を踏まえた校門指導、巡回指導体制の再構築

○ マナーアップ・ウイルアップの取組み推進

- ・新規行事試行や行事内容の改善が教員提案で取組まれ成果を上げた。
- ・SAカードによる目標管理指導や個別面接指導を各学年で実施できた。

課題

- ・ウイークリーキャンペーンを生徒主体の取組に変更すること。
- ・SAカードの改善と活用方法の検討を継続し定着させること。

○ 生徒支援体制の組織化

- ・SCとの連携をさらに進化させ多様化する個々の生徒への支援を強化できた。
- ・生徒理解のための校内研修により教員の意識を向上させた。

課題

- ・個人任せにしない教員間の複合的な連携体制の確立。
- ・生徒間トラブル予防のための生徒理解力の強化と情報共有策の実施。

【キャリア教育】

○ キャリア教育の組織化・計画化

- ・キャリアPTを中心に新規行事実施等、キャリアウイークを進化させた。

課題

- ・総合的なキャリア教育の一元的・組織的实施体制の確立。
- ・「人間と社会」、インターンシップの在り方検討。
- ・模試・検定実施計画、運営の組織化。

○ 進路（出口）指導体制の充実

- ・土曜事業を活用し学生チューターを導入。活用方法を試行して成果を上げた。
- ・連携先（上級学校）を拡大した。
- ・就職希望者100%就職を維持した。

課題

- ・一般受験チャレンジに加え、AO・公募推薦を活用したチャレンジ策実施。
- ・生徒個々の意識啓発と進路準備早期化への方策実施
- ・上級学校訪問出張等を奨励し教員の上級学校理解を向上させること。
- ・保護者への情報提供の日常化し進路実現への意識啓発を図ること。

【特別活動】

○ 部活動のさらなる活性化

- ・運動系、文化系それぞれの部活動の目標を明確化し活動方針を改善させた。
- ・部活動による地域貢献活動の質的量的拡大をさらに進展させた。

課題

- ・部活動加入率向上策の実施。

- ・地域貢献・交流活動の多面化による拡大。

○ 学校行事

- ・新規行事実施等により、生徒主体の行事企画運営を継続、発展させた。
- ・HR合宿、修学旅行の在り方検討を進め改善策を策定した。
- ・部活動合宿の組織的な計画化を前進させた

課題

- ・30年度以降HR合宿の検討計画。
- ・生徒を活かし、伸ばす学校行事への改善。
- ・慣習に囚われずに行事全体のバランスを再検討し全体計画化すること。

【人材育成】

○ OJT 推進

- ・校内研修の定期実施により多面的なOJTに取り組んだ。
- ・若手を中心に授業改善組織を立ち上げ、相互授業参観を前進させた。

課題

- ・気づき力・フットワークの醸成。
- ・組織的な若手育成策推進。
- ・教員リーダーの育成。

○ 研修の奨励

- ・話し合いによる校内研修を複数回実施し情報共有を進めることができた。
- ・教員主導の生徒理解研修を継続実施できた。

課題

- ・個々の教員の当事者意識の向上。

【募集対策活動】

○ 利用者本位の視点での募集対策活動の改善

- ・見学会・説明会への改善により、参加者を増加させた。
- ・安心して通える学校としてのイメージを定着させ、応募倍率を安定させることが出来た。
- ・近隣中学からの受験者安定とともに、荒川区北区からの受験者を増加させた。
- ・ホームページ運営体制を改善し情報発信力を強化できた。

課題

- ・きめ細かく利用しやすい、学校見学、相談体制への利用者目線でのさらなる改善。
- ・ホームページを活用した積極的な情報発信の推進。

【学校経営・組織体制】

○ 校内情報共有の推進

- ・ホワイトボードを活用した日常的な情報伝達が定着した。
- ・情報共有のための研修を実施し一歩前進した。

課題

- ・職層、各種会議を活用した情報共有との実質化。
- ・TAIMSを活用した情報共有システムの構築と推進。

○ 組織連携の強化

- ・企画調整会議の情報発信力の強化を図った。

課題

- ・学年分掌の連携強化、各種会議・職層を活用したボトムアップの実質化。
- ・教員リーダー、経営スタッフの育成。

○ 危機管理の徹底

- ・サービス事故情報を含め情報発信を繰り返し危機管理意識を徹底し事故ゼロを達成した。

課題

- ・教職員個々が当事者意識を持って危機管理に取り組む意識啓発の強化。

○ その他

- ・土曜事業活用した学生チューターによる補習指導、土曜クラフト教室による地域異世代交流活動を実施し大きな成果を上げることができた。
- ・近隣JETを招待しての日本伝統文化体験事業を実施し成果を上げた。

- ・オリンピックによる講演会を実施し大きな成果を得た。
- ・合唱祭、文化部活動成果発表会を試しウィルアップを図ることができた。
- ・薬物乱用防止高校生会議や全国高等学校家庭クラブの活動に生徒が参加し大きく成長した。

- 課題**
- ・各PTによる取組の成果の引き継ぎと新体制構築（キャリアウイーク、特進システム、ホームページ運営、行事検討等）
 - ・施設点検・管理に係る企画室・教員間の連携を継続発展させること。
 - ・生徒の多様性に応えるカリキュラムへの改善検討。

<重点項目の数値目標の達成状況>

☆学力アップ策、マナー・ウィルアップ策 教員一人各1取組み以上実施	○ 新規事業 複数実施
☆中途転退学者5名以内	△ 7名
☆学力不振による原級留置者ゼロ	△
☆授業満足度肯定回答72%	△ 63%
☆進路指導満足度肯定回答80%	△ 71%
☆各種検定資格取得70名	×
☆特別指導ゼロ	× 12件
☆遅刻前年度比10%減	×××45%増
☆自転車事故ゼロ	×
☆年間皆勤生徒数100名	× 53名
☆進路未決定者ゼロ	× 8名
☆センター試験受験者50名	× 45名
☆大学短大合格者数100名	× 86名
☆一般受験による大学合格率60%	×× 23%
☆就職率100%	○ 100%
☆長期休業期間講習参加生徒数延べ600名	× 417名
☆生徒会・部活動によるボランティア活動20回実施	○ 19回
☆中進対志望倍率1.2倍	○ 1.24倍
☆一次入選応募倍率1.3倍	◎ 1.36倍
☆学校説明会参加者2000名	△ 約1800名
☆学校HP更新150回	○ 120回だが 各回複数内容更新
・アクセス 年間17万回(約16万回)	○
☆個人情報管理事故ゼロ、サービス事故ゼロ、入選事故ゼロ(○)	○ ゼロ

<次期中期計画に向けての引き継ぎ事項>

- ☆生徒個々の人格を尊重し丁寧な支援・指導を行い、切り捨てない学校であること
- ☆多様な進路希望を持った生徒が伸びることを支援するサービスを最大限提供する学校であること
- ☆すべての授業で「考える機会」「自分で理解する機会」を保証すること。
- ☆地域から愛され選ばれ続ける学校であること
- ☆改善し続ける学校であること
- ☆教職員の当事者意識を高め、主体的に業務改善に取り組む姿勢を醸成すること
- ☆教職員間の情報共有を進め、協業体制を堅固なものとする
- ☆教職員が働きやすい、働きがいのある職場としていくこと
- ☆キャリア教育の一元的実施体制を構築すること